

大阪市会 大阪府議会とも

否決

特別区設置協定書「都構想」を

デタラメな協定書を住民投票にかけられるわけがありません！

平成 26 年 1 月 31 日の第 13 回大阪府大阪市特別設置協議会 以降 府知事大阪市長と維新の会の府議のみで**反対派を排除**し、特別区設置協定書（案）を取りまとめるという異常事態を引き起こしました。

そして、9 月 5 日**総務大臣から意見**を付して協定書が手交されました。その際、総務大臣は会見で「この構想については**通常の状態、正常の状態とはとても言えない**・・・状況が正常な状態を前提としているので、議会が開かれないとか法定協のメンバーが通常とは違う状態になっているとか、そういったものを想定していない」と維新単独で決めたことや臨時議会の招集拒否を念頭に厳しく批判をしました。

このため、大阪市会 大阪府議会は協定書取りまとめの違法性から「**無効決議**」を採択しこの協定書が明らかに正当性を欠いていると指摘し、両議会で真摯な議論を行いその結果 10 月 27 日両議会とも“**否決**”するに至りました。

また、市長が言っている**住民投票実施には府と市の両議会の承認**がなければ行う事ができません。その住民投票実施も協定書否決で不可能な状態になると、住民投票実施を住民投票で行いたいと**民意の代表の議会を無視・否定**をし、**市民の民意までも捻じ曲げ、税金のむだ使い**をしようとしています。大阪市民をバカにした発言や行動は本当にゆるせません。私たちはしっかりと市民・府民の財産を守り、健全な大阪市政・府政の運営を取り戻しましょう。



気に入らないメンバーがいるからって追い出すなんて？！自分たちの仲間だけで物事を進める事がダメだというのは子どもでも分かる事じゃないか！当たり前の結果ですっ！

早けりゃイってもんじゃないよっ！！

しっかりとチェックしないと整備不良で事故の元なんだよなあ・・・！！



大阪市議員の森山よしひさです。
秋も深まり寒さも増してきました。健康には気を付けて
頂きます様よろしく申し上げます。

今回のニュースでは浪速区における学校統廃合問題や教育コ
ミュニティについてまとめました。また、11月は児童虐待防止
強化月間です。皆さんにはいつも以上に周りの子どもたちに目を
向けて、いつも以上に周りの子どもたちに目を向けて、温かく見
守っていただきます様にお願いします。



大阪市議員 後援会ニュース 森山 よしひさ

2014年11月 第25号

発行 森山禎久後援会事務局

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号室

☎ 06-6630-8800 F a x 06-6630-9260

子どもたちと教育コミュニティ環境を守ろう

この春に新聞などでも発表があった来
年度の学校選択制は浪速区を除く市内二
十三区が導入する事になりました。
なぜ、浪速区だけがと思う人がおられる
と思いますが、児童生徒数の少ない浪速
区では統廃合が先だと以前浪速区長が言
っていたのを覚えています。

【地域格差のない教育を子どもたち に】

しかしながら、現在の大阪市は選択制
により少人数になった学校を統廃合し、
「学校のある地域・ない地域」「子どもが
たくさんいる地域・少ない地域」という
地域格差をつくっていています。
つまり、子どもの数が少ない浪速区では
選択制を導入する事なく、既に統廃合対
象の学校が多いという事から選択制は必
要がないという事なのです。市内で唯一
選択制を導入せずに統廃合が先という言

葉は現在の浪速区の教育コミュニティが
いかに危機に直面しているかを語って
います。そして、この危機をどう乗り越える
のかを皆さんと共に考えたいと思います。

実際、浪速区では本年の4月から塩草小
と立葉小が統合し、旧塩草小学校の場所
で「塩草立葉」小という新しい校名でスタート
をきりました。区域拡大により子ども
たちの通学路の安全確保や児童数が増
加傾向の中での学校の大きさの問題等、この先



区民文化祭で日東幼稚園と立葉幼稚園の
園児たちの元気な歌声を聴く森山議員

多くの課題と向き合うことが想定されま
す。

【求められる教育コミュニティ】

本年、区内で母子手帳発行数は約 800
通ですが、小学校に入学する児童数は全体
で 300 通くらいと半数以上の子どもが就
学前に区外へ出て行く傾向があります。

「学校があって地域のコミュニティが
育つ、地域のコミュニティがあって子ども
たちが育つ」そういう街づくりが求められ
ています。そうした観点から子どもが少な
いから統廃合ではなく、子どもが増えるよ
うに方向性を打ち出すことが最重要課題
だと考えます。

そして、浪速区の子育て層や子どもの生
活全般への区独自の予算配分の拡充を求
めていく必要があります。

もっとたくさんの子どもの笑顔と声が
聞こえる浪速区を目指して、みなさんの声
を市政に反映していきます。